

国際交流・留学生センター レポート VOL.2



産業能率大学

目次

03

国際交流・留学生センター

04

留学生会活動報告①
留学生茶話会

05

留学生会活動報告②
異文化交流フェスタ「私のふるさと」

07

台湾・銘傳大学ダブル・ディグリー・プログラム
第2期生入学式 挙行報告

09

留学生会活動報告③
異文化交流フェスタ「異文化聞こう・話そう会」

国際交流・留学生センター

国際交流・留学生センターは、海外留学および海外インターンシップ等の国際交流の発展に向けた施策の企画・検討・立案ならびに留学生センター機能拡充のための海外プログラムの開発を担うために、2018年度に新設された組織です。



国際交流・留学生センター長
経営学部 教授 杉田一真

活動内容

- (1) 海外での学修成果の単位化の検討・企画・提案
- (2) 国際交流・留学関連既存科目内容の見直し、ならびに新規科目案の検討・企画・提案
- (3) 本学の国際交流活動・留学生支援活動の外部への情報発信と広報活動

留学生会 活動報告①

留学生会では、日本での留学生生活を充実させるため、さまざまなイベントを企画・実施しています。

留学生茶話会

開催日時：2023年6月22日（木）

対 象：本学外国人留学生、教職員

ー全学年の留学生が初めて一堂に会した、4年ぶりの対面イベントー



昨年度まで新型コロナウイルスの影響により、出身国・地域や、学年を超えて留学生間の交流を深める機会がほとんどなかった。コロナ5類移行により、今年度は留学生会の活動を通して、これまでより有意義で充実した留学生生活を送れるようにしたい、その最初の一步として、留学生同士や教職員と気軽に交流できる場を設けたいと考え、今回の茶話会を企画した。

実に4年ぶりの対面の交流会ということで、終始留学生たちの楽しそうな顔が印象的だった。

2019年以来、対面で全学年の留学生が一堂に集まるのは、全員にとって初めてのこと。開始直前まで会場はどこか落ち着かない様子だったが、鬼木学長の挨拶後、岩井経営学部長の乾杯の音頭で茶話会がスタート！それぞれに目当ての食べ物を手にすると、同じ国同士や先輩・後輩、教職員に話しかけ、会場のあちらこちらで話が弾んでいた。



異文化交流フェスタ 私のふるさと

開催日時：2023年6月29日（木）
～7月 3日（月）

対 象：本学外国人留学生、教職員
日本人学生

－外国人留学生による出身国・地域の「ふるさと」紹介－

留学生会では毎年前学期に異文化交流フェスタ「私のふるさと」というスピーチ大会を開催し、留学生が自分の出身国・地域について紹介している。留学生と日本人学生、教職員がお互いに知り合い、異文化理解を深めることを目的だ。

今年度は3日間にわたり開催され、中国、台湾、韓国、ベトナムの留学生10名が毎日交代で登場。母国の地理・歴史、名産や料理、おすすめの観光地などについて、日本語で紹介した。



今年は、コロナの影響で取りやめていた教室発表を4年ぶりに復活させ、発表の様子をZOOMでも同時配信するという、留学生会主催イベントでは初めての形式で開催。会場とZOOMの両方の参加者を楽しんでもらえるように、進行方法や会場設営など工夫し、待ちわびた「対面式での交流イベント」に向けて、留学生たちは準備を重ねた。

当日の会場には、日本人学生や教職員が多く来場し、留学生を応援しながら、異文化の紹介に聞き入っていた。発表後の質問タイムでは、会場とZOOM、どちらの参加者からも、さまざまな質問が寄せられ、短い時間であったが大いに盛り上がった。（次頁へ）

2023年 6月29日（木）

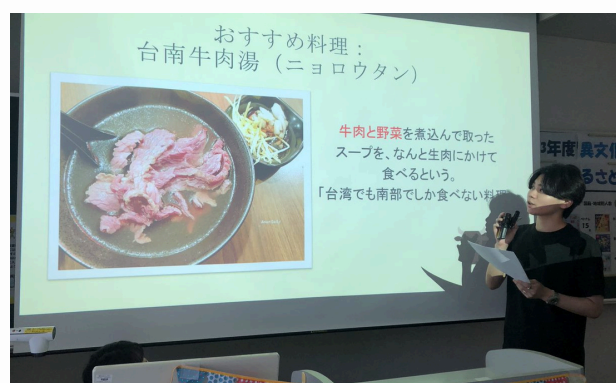
■中国・遼寧省

■台湾



【中国遼寧省】

大連のビール祭りに参加者が好反応



【台湾】

おすすめ料理への問い合わせが多数

イベント終了後も、「あの料理のおすすめの日本のお店はどこですか?」「あの商品はどこで買えますか?」などの質問が相次ぎ、問い合わせの多いものは、翌日の発表開始前に「回答コーナー」を設け、改めて紹介した。

こうした留学生と日本人学生、教職員との交流を通して、「異文化の視野を広げ、お互いに理解を深める」という今回のイベントの目的を達成することができた。今後も留学生会では、スピーチコンテストや交流会を実施していく予定だ。

2023年6月30日（金）

■韓国



【韓国】

質問タイムが大盛況



日本人学生も参加し、興味深く話を聞いた

2023年7月3日（月）

■ベトナム

■中国・浙江省



【ベトナム】

写真映えするスポットが満載



【中国浙江省】

杭州銘茶・西湖龍井の1500年の歴史に驚嘆



産業能率大学

×



台湾銘傳大学

ダブル・ディグリー・プログラム

第2期生入学式 挙行

2023年9月5日（火） 10:30～11:00



台湾から第2期生を迎えて

昨年度よりスタートした、本学の海外提携校である台湾・銘傳大学との「ダブル・ディグリー・プログラム」。後学期開始にあたり第2期生となる3名の留学生の入学式が、2023年9月5日（火）に執り行われた。

鬼木学長のお祝いの言葉に続き教職員の紹介の後、留学生一人ひとりが前に出て自己紹介をし、本学で学ぶ決意や留学生活への抱負を述べた。

入学式の後には、担当の指導教員と流暢な日本語で交流し、学生生活に関するガイダンスを受けた。

3名の留学生は、これから2年間、本学の経営学部マーケティング学科に所属し、本学学生と共に学ぶ。



鬼木学長の祝辞



自己紹介をする留学生



第2期生3名を中心に記念撮影



松尾ゼミ



小々馬ゼミ



入学式後は流暢な日本語で指導教員と交流



指導教員の研究室に招かれ歓談

異文化交流フェスタ 異文化聞こう・話そう会

開催日時：2023年12月18日（月）
～12月20日（水）

対 象：本学外国人留学生、教職員
日本人学生

－異文化を視点に自分なりのテーマを日本語で発表－



【金賞】ベトナムと日本のカルチャーショック
身近な例でわかりやすくスピーチ

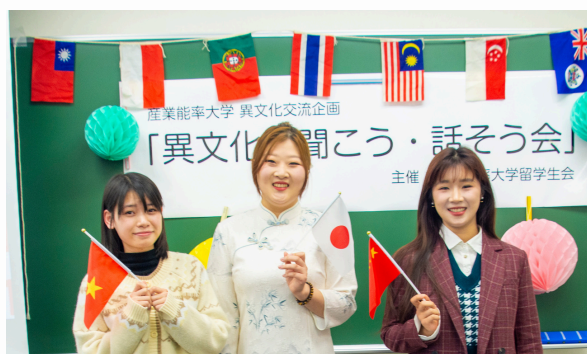
2023年12月18日（月）から20日（水）の3日間にわたり、留学生会主催イベント「異文化聞こう・話そう会」が開催された。このイベントは本学の外国人留学生が、社会や文化、言葉の壁を越えて、日常生活の中で感じていることなど、異文化を視点に自分なりのテーマをみつけ、日本語でスピーチするコンテストだ。今年は、3日間で計7組8名の留学生が出場した。

発表のテーマは、生活習慣や食べ物、交通事情、言語、教育、考え方など様々。留学生自身が日本の生活の中で経験した、母国との違いに戸惑ったこと、苦労したことが紹介されるたびに、会場にいる参加者からは驚きの声が上がったり、納得してうなづく様子がみられた。

最終日の12月20日（水）には表彰式が執り行われ、上位入賞者3名が発表された。

どの入賞者も入賞の喜びとともに、次も機会があれば自分自身の向上のために挑戦したいと前向きな抱負を語っていた。また、他の出場者には努力賞が贈られ、表彰後はお互いの健闘を称えあった。

今回のスピーチコンテストは、どの出場者もしっかり準備して参加し、外国人留学生が日頃の学習成果を発表する場として良い機会になった。次年度以降も「異文化聞こう・話そう会」を開催し、留学生会の伝統イベントとして受け継いでいきたい。





華やかな衣装で登場する発表者



9月に来日したばかりのダブルディグリー生も参加



スピーチを聴いた鬼木学長が発表者へ質問



鬼木学長からの質問に緊張して答える発表者たち



今年の入賞者を発表する責任重大な司会者



一人ひとりに賞状と記念品が渡された



記念品に興味津々な様子



表彰式後、出場者全員で記念の一枚

